

自宅で病気を治療しながら安心して療養生活を送るために、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士などのほか、ケアマネージャー・ホームヘルパーなどが連携して患者様やその家族（介護者）の在宅医療・介護を支えています。

中心になるのはかかりつけ医です。希望に沿った療養生活を進めていくために様々な人たちの協力が必要になります。看護師が医療処置の補助や療養上の世話をはじめ日常の健康状態の管理を、薬剤師が薬の管理や服薬指導を、栄養士が食事管理を、理学療法士や作業療法士がリハビリテーションを担当し、口腔や摂食・嚥下に問題がある場合は歯科医師がサポートします。また、介護が必要な場合は、ケアマネージャーが調整役となり、ホームヘルパーが身の回りのお世話をします。



そんな中で我々薬剤師は、かかりつけ医の指示に基づく処方せんの調剤、医薬品や衛生材料の供給、薬の飲み合わせなど薬歴管理、薬の効果などの説明、服薬指導、服薬状況と保管状況の確認を行います。

入院している人の多くは、「早く家に帰りたい……」と思うものです。在宅医療によって、たとえ重い病気を抱えていても住み慣れた「我が家」で療養できることは、精神面の負担が減って症状が軽くなる場合もあります。また、費用面においても入院治療よりも在宅医療のほうが経済的といわれています。万一の際に、地域や家庭で安心して療養生活を送りたいと思われましたらお近くの薬局で相談しましょう。



キトー薬局 向陽店